

研究業績リスト (著書・論文等)

氏名：

著書・論文等の名称	単著 共著 の別	発行・発表年	発行所(学会名・会議名), 発表雑誌, 巻号, ページ	概 要
I 著書 1 2 ・ II 論文 (査読付論文) ・学術誌 1 2 ・ ・ その他 編 ・ 国際会議論文 1 2 ・ ・ その他 編 (研究報告) 1 2 ・ ・ その他 編 (総説・解説) 1 2 ・ ・ その他 編				著者名： 担当： 著者名： 担当： 著者名： 担当： 著者名： 担当： 著者名： 担当： 著者名： 担当： 著者名： 担当：
学 位 論 文 名		取得年月	学位・授与大学名	概 要
● 学位論文 1 2		****年**月 ****年**月	修士(〇〇学)(〇〇大学) 博士(〇〇学)(〇〇大学)	

研究業績リスト（特許・実用新案）

	特許・実用新案の名称	登録・出願番号	出願年月日	発明者名	特許権者名
	(登録)				
1		実用新案登録第**号	1999/10/ 1	鳥取太郎	〇〇工業（株）
2		特許第〇〇号	2000/10/ 1	鳥取太郎	〇〇工業（株）
3					
4					
・					
・					
	(出願)				
1					
2					
3					
4					
・					
・					

「研究業績リスト(著書・論文等)」の記載方法について

1. この書類は、担当授業科目等に関する主要な著書、論文等（発行又は発表が予定されているものを含む。）についてのみ記載すること。
 2. 「著書・論文等の名称」欄には、「著書」「論文」の順に、それぞれ年順に記載すること。
 3. 「査読付論文」については、最近のものを中心に記載すること。（最近5年間の業績を必ず含めること。）最大50編まで記載し、書ききれない場合は、「その他 ○編」と記入すること。「研究報告」「総説解説」については主要なもののみ記載し、それぞれ「その他○編」と記入すること。
 4. 「ページ」の書き方は、「pp.○○～○○」又は「p○」とする。
 5. 共著の場合は、「概要」欄に、著作者全員の氏名（フルネーム）を当該著書・論文等に記載された順に記入（本人氏名に下線）すること。なお、英文論文の場合の著者名はローマ字記入とする。
 6. 「学位論文」は最後に記載すること。
 7. 「概要」欄には、著書・論文等の概要について、各著書・論文毎に200字以内で記入のこと。共著の場合は、著者名の他、担当部分についても明記すること。
 8. 「担当」の書き方の例
担当：構想，計算，まとめ
担当：実験，解説，考察
担当：計画，まとめ
- ※ 担当部分を明確にできないときは、その理由を明記すること。 例) 共同研究につき本人担当部分抽出不可

「研究業績リスト(特許・実用新案)」の記載方法について

1. 主要な登録分を中心に最大30件まで記載し、書ききれない場合は、「その他 ○件」と記入すること。

研究業績リスト (著書・論文等)

氏名：

著書・論文等の名称	単著 共著 の別	発行・発表年	発行所(学会名・会議名), 発表雑誌, 巻号, ページ	概 要
I 著書 1 2 ・ ・ II 論文 (査読付論文) ・ 学術誌 1 2 ・ ・ ・ その他 編 ・ 国際会議論文 1 2 ・ ・ ・ その他 編 (研究報告) 1 2 ・ ・ ・ その他 編 (総説・解説) 1 2 ・ ・ ・ その他 編				著者名： 担当： 著者名： 担当： 著者名： 担当： 著者名： 担当： 著者名： 担当： 著者名： 担当： 著者名： 担当： 著者名： 担当：
学 位 論 文 名		取得年月	学位・授与大学名	概 要
● 学位論文 1 2		****年**月 ****年**月	修士(〇〇学)(〇〇大学) 博士(〇〇学)(〇〇大学)	

研究業績リスト（特許・実用新案）

	特許・実用新案の名称	登録・出願番号	出願年月日	発明者名	特許権者名
1 2 3 4 ・ ・	(登録)	実用新案登録第**号 特許第〇〇号	1999/10/ 1 2000/10/ 1	鳥取太郎 鳥取太郎	〇〇工業（株） 〇〇工業（株）
1 2 3 4 ・ ・	(出願)				

研究業績リスト（作品）

	作品の名称	発表年月日	作品の発表 ・設置場所	全発表者・全制作者	概 要
1	米子市〇〇記念会館	1999/10/ 1	米子市	鳥大太郎, 米子次郎	プロジェクトでの役割： 基本設計 概要：・・・・・・・・
2	鳥取県〇〇運動公園	2001/10/ 1	鳥取市	鳥大太郎	プロジェクトでの役割： 基本設計 概要：・・・・・・・・
3 ・ ・					

「研究業績リスト(著書・論文等)」の記載方法について

1. この書類は、担当授業科目等に関する主要な著書、論文等（発行又は発表が予定されているものを含む。）についてのみ記載すること。
 2. 「著書・論文等の名称」欄には、「著書」「論文」の順に、それぞれ年順に記載すること。
 3. 「査読付論文」については、最近のものを中心に記載すること。（最近5年間の業績を必ず含めること。）最大50編まで記載し、書ききれない場合は、「その他 ○編」と記入すること。「研究報告」「総説解説」については主要なもののみ記載し、それぞれ「その他○編」と記入すること。
 4. 「ページ」の書き方は、「pp.〇〇～〇〇」又は「p〇」とする。
 5. 共著の場合は、「概要」欄に、著作者全員の氏名（フルネーム）を当該著書・論文等に記載された順に記入（本人氏名に下線）すること。なお、英文論文の場合の著者名はローマ字記入とする。
 6. 「学位論文」は最後に記載すること。
 7. 「概要」欄には、著書・論文等の概要について、各著書・論文毎に200字以内で記入のこと。共著の場合は、著者名の他、担当部分についても明記すること。
 8. 「担当」の書き方の例
担当：構想，計算，まとめ
担当：実験，解説，考察
担当：計画，まとめ
- ※ 担当部分を明確にできないときは、その理由を明記すること。 例) 共同研究につき本人担当部分抽出不可

「研究業績リスト(特許・実用新案)」の記載方法について

1. 主要な登録分を中心に最大30件まで記載し、書ききれない場合は、「その他 ○件」と記入すること。

「研究業績リスト(作品)」の記載方法について

1. 共同発表あるいは共同制作の場合は、発表者あるいは制作者全員の氏名（フルネーム）を記入（本人氏名に下線）すること。
2. 「概要」欄では、その作品の概要について、各作品毎に200字以内で記入するとともに、プロジェクトでの役割を明記すること。